



2023年2月24日

各位

会社名 東武鉄道株式会社
 代表者名 取締役社長 根津 嘉澄
 (コード番号 9001 東証プライム)
 問合せ先 財務部課長 会田 賢太郎
 (TEL. 03 - 5962 - 2183)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月2日に公表した2023年3月期通期業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）について、下記のとおり業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1 業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 592,000	百万円 41,000	百万円 38,000	百万円 23,300	円 銭 111.68
今回修正予想 (B)	607,000	50,000	47,500	25,000	119.92
増減額 (B - A)	15,000	9,000	9,500	1,700	—
増減率 (%)	2.5	22.0	25.0	7.3	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	506,023	24,732	27,406	13,453	64.49

(2) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 200,000	百万円 22,700	百万円 18,200	百万円 14,800	円 銭 70.94
今回修正予想 (B)	202,000	26,400	22,000	16,000	76.75
増減額 (B - A)	2,000	3,700	3,800	1,200	—
増減率 (%)	1.0	16.3	20.9	8.1	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	188,851	23,355	19,701	16,044	76.91

2 修正の理由

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、旅行業においてソーシャルイノベーション事業が想定以上に伸長したことに加えて、入国制限緩和に伴う訪日外国人旅行客の増加や全国旅行支援の後押し等により、ホテル業の客室単価や鉄道業の行楽需要が回復していることなどから、営業収益及び営業利益、経常利益の想定を上方修正いたしました。また、連結子会社において不採算施設の減損損失を織り込むものの、上記の影響により親会社株主に帰属する当期純利益の想定を上方修正いたしました。

2023年3月期の通期個別業績予想につきましては、上記と同様の理由により業績予想を上方修正いたしました。

なお、業績予想の詳細につきましては、本日別途公表の「2023年3月期業績予想補足説明資料」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想値と異なる可能性があります。

以 上